

2021年4月26日

プレスリリース

中小企業向け事業保険のエヌエヌ生命
中小企業における経営者と従業員の意識の違いを調査
～ 経営者の認識よりも従業員は「ワークライフバランス」を重視 ～

生命保険を通じて日本の中小企業を応援するエヌエヌ生命保険株式会社（代表取締役社長：フランク・エイシク、本社：東京都渋谷区、以下「エヌエヌ生命」）は、中小企業における経営者と従業員の意識の差異を把握するため、4月上旬に全国の中小企業経営者 1,819 名と従業員 2,266 名を対象に調査を実施しました。

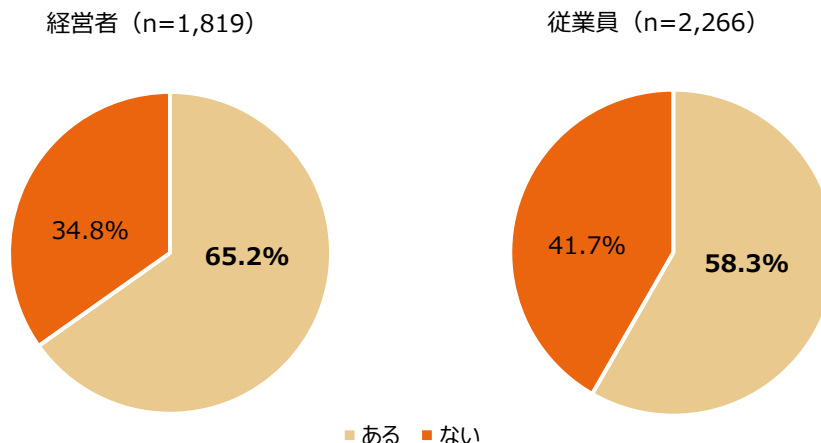
<調査結果まとめ>

1. 半数以上の中小企業の経営者と従業員が、就業不能になる心配があると回答。就業不能になる理由として考えられるものについては、「突然の疾病」、「業務外の事故」、「業務に関連した事故」の順で回答が多い
2. 中小企業経営者の 50.2%が就業不能になった場合に「経営の代行・後任」について不安だと感じているものの、約 8 割（77.9%）が代理の経営者を決めていないと回答
3. 働くうえで従業員が得られるものとして最も重要視している項目については、中小企業の経営者と従業員の間で差異があり、経営者は「専門スキル」、従業員は「ワークライフバランス」を重視
4. 従業員よりも経営者の方が、他業界と比較して「やりがい」や「給料」が多く「残業時間」が少ないと認識
5. 経営者が残業時間削減に積極的な業種は「電気通信業・ソフトウェア・情報サービス業」（80.1%）。副業・兼業に積極的な業種は「旅行関連業（宿泊・旅行代理店）」（73.1%）

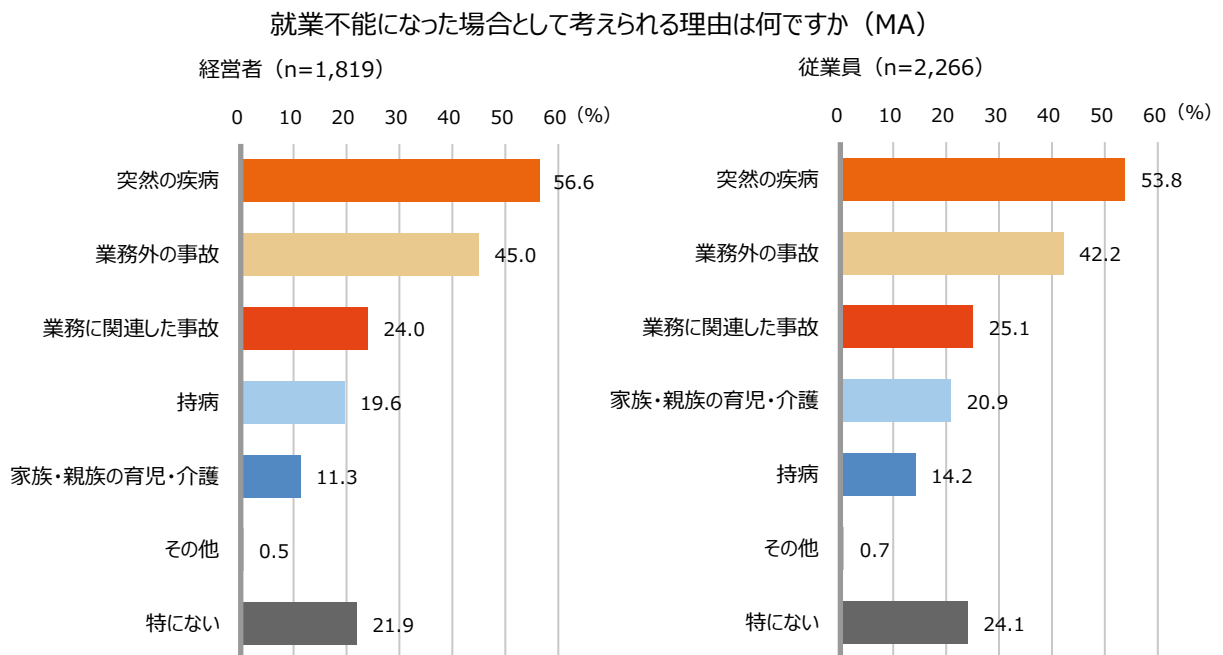
<調査結果詳細>

（1）半数以上の中小企業の経営者と従業員が、就業不能になる心配があると回答。就業不能になる理由として考えられるものについては、「突然の疾病」、「業務外の事故」、「業務に関連した事故」の順で回答が多い
 中小企業の経営者 1,819 名と従業員 2,266 名に、突然の病気や事故などで「就業不能」になる心配はあるか質問したところ、経営者は 65.2%、従業員は 58.3%が「ある」と回答しました。

突然の病気や事故などで、ご自身が働けなくなる「就業不能」になる心配はありますか（SA）

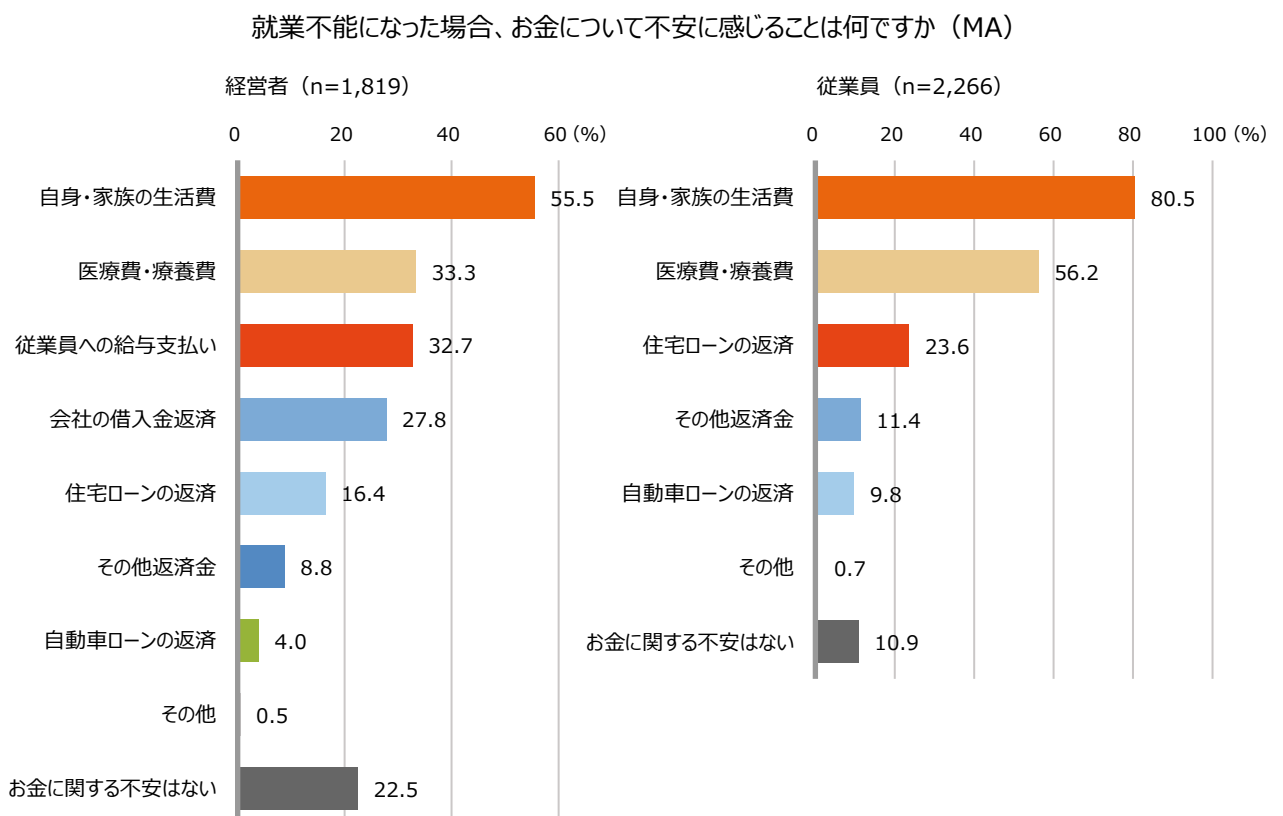


また、就業不能になる理由として考えられるものについては、経営者・従業員ともに、「突然の疾病」が最多で、「業務外の事故」、「業務に関連した事故」と続きました。



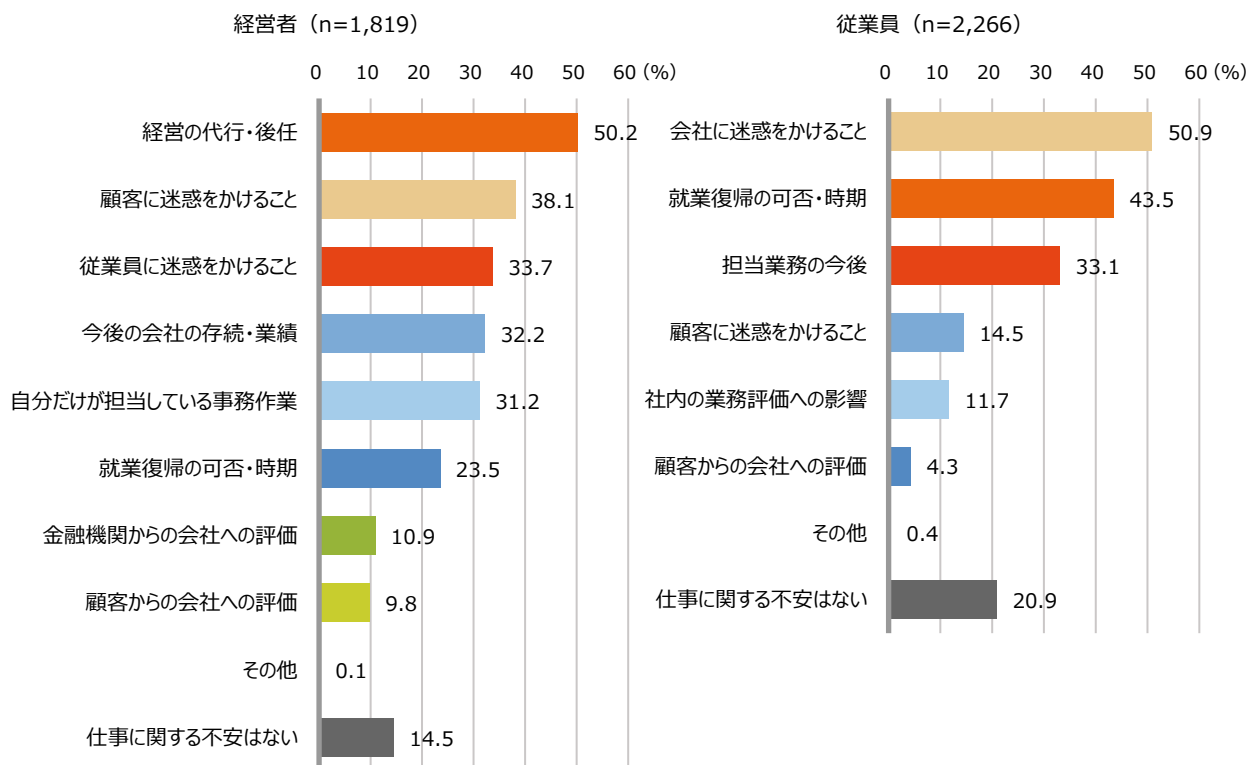
(2) 中小企業経営者の 50.2%が就業不能になった場合に「経営の代行・後任」について不安だと感じているものの、約 8 割 (77.9%) が代理の経営者を決めていないと回答

中小企業の経営者 1,819 名と従業員 2,266 名に、就業不能になった場合にお金について不安に感じることは何か質問したところ、経営者・従業員ともに「自身・家族の生活費」「医療費・療養費」の回答率が高い結果となりました。



また、就業不能になった場合、仕事について不安に感じることは何か質問したところ、経営者は「経営の代行・後任」(50.2%)、「顧客に迷惑をかけること」(38.1%)、「従業員に迷惑をかけること」(33.7%)を、従業員は「会社に迷惑をかけること」(50.9%)、「就業復帰の可否・時期」(43.5%)、「担当業務の今後」(33.1%)をあげました。

就業不能になった場合、仕事について不安に感じることは何ですか (MA)



さらに、「経営の代行・後任」の回答率を業種別に見ると、「卸売・小売業(自動車・輸送機器・金属加工・精密機械)」(67.9%)が最も高く、僅差で「農業・林業・漁業・鉱業」(66.7%)でした。

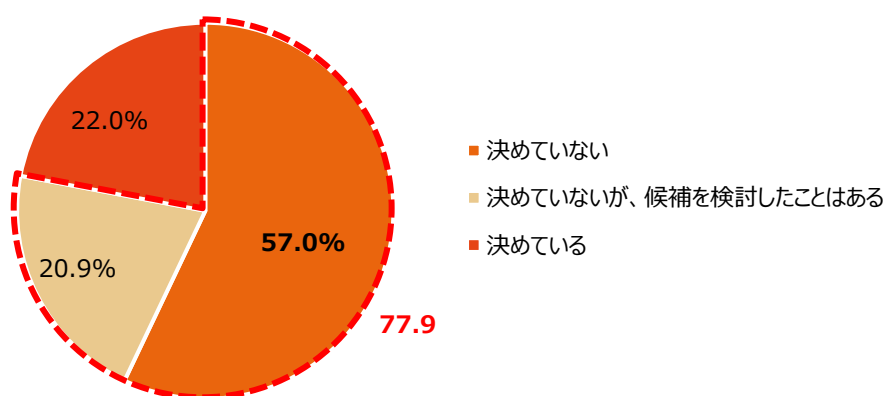
就業不能になった場合、仕事について不安に感じることとして「経営の代行・後任」と回答した上位5業種

	n数	経営の代行・後任 (%)
全業種	1,819	50.2
1 卸売・小売業 (自動車・輸送機器・金属加工・精密機械)	53	67.9
2 農業・林業・漁業・鉱業	36	66.7
3 医療機関・福祉業	103	59.2
4 不動産業	206	57.3
5 卸売・小売業 (医薬品・化粧品)	21	57.1

中小企業の経営者 1,819 名に、就業不能に備えて代理の経営者を決めているか質問したところ、「決めていない」(57.0%)と「決めていないが、候補を検討したことがある」(20.9%)を合わせた約 8 割 (77.9%) が「決めていない」と回答し、就業不能になった場合に「経営の代行・後任」について不安だと感じていながらも代理の経営者や後任者を決めていないことが明らかになりました。

また、業種別では、代理の経営者を「決めていない」の回答は「旅行関連業（宿泊・旅行代理店）」(69.2%)が、代理の経営者を「決めている」の回答は「製造業(家電・電気機械器具・IT 関連)」(33.3%)が最も高い結果でした。

突然の事故や病気などによる就業不能に備えて、代理の経営者を決めていますか (n=1,819、SA)



「代理の経営者を決めていない」と回答した上位 5 業種

	n数	代理の経営者を決めていない (%)
全業種	1,819	57.0
1 旅行関連業（宿泊・旅行代理店）	26	69.2
2 卸売・小売業（家電・電気機械器具・IT関連）	51	66.7
3 卸売・小売業（衣服）	71	64.8
4 製造業（食料・飲料・日用品）	88	63.6
5 電気通信業・ソフトウェア・情報サービス業	206	62.6

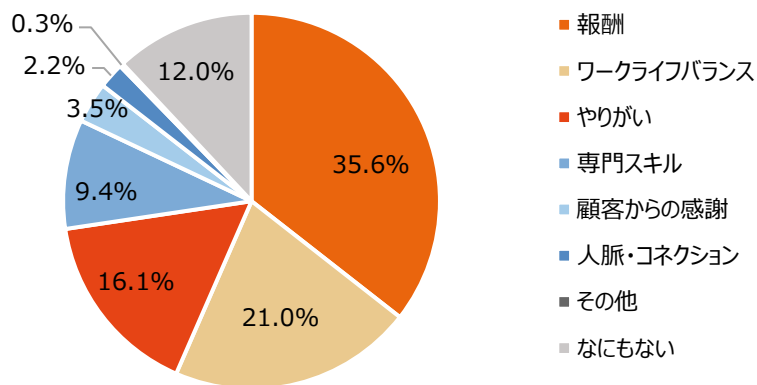
「代理の経営者を決めている」と回答した上位 5 業種

	n数	代理の経営者を決めている (%)
全業種	1,819	22.0
1 製造業（家電・電気機械器具・IT関連）	42	33.3
2 飲食店	112	32.1
3 製造業（自動車・輸送機器・金属加工・精密機械）	51	31.4
4 卸売・小売業（医薬品・化粧品）	21	28.6
5 農業・林業・漁業・鉱業	36	27.8

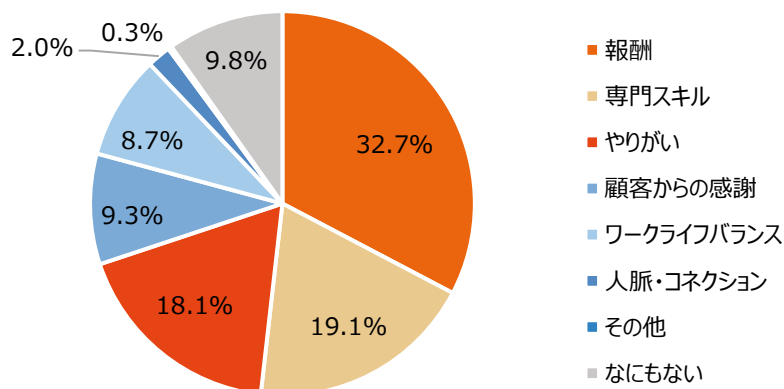
(3) 働くうえで従業員が得られるものとして最も重要視している項目については、中小企業の経営者と従業員の間で差異があり、経営者は「専門スキル」、従業員は「ワークライフバランス」を重視

中小企業の従業員 2,266 名に、現在の勤務先で働くうえで得られるものとして最も重要視しているものは何か質問したところ、「報酬」(35.6%)、「ワークライフバランス」(21.0%)、「やりがい」(16.1%) をあげました。一方で、中小企業の経営者 1,819 名に自身の会社で従業員が働くうえで得られるものとして最も重要視しているものは何だと思いか質問したところ、「報酬」(32.7%)、「専門スキル」(19.1%)、「やりがい」(18.1%) との回答になり、特に「専門スキル」と「ワークライフバランス」の項目について差異が明らかになりました。

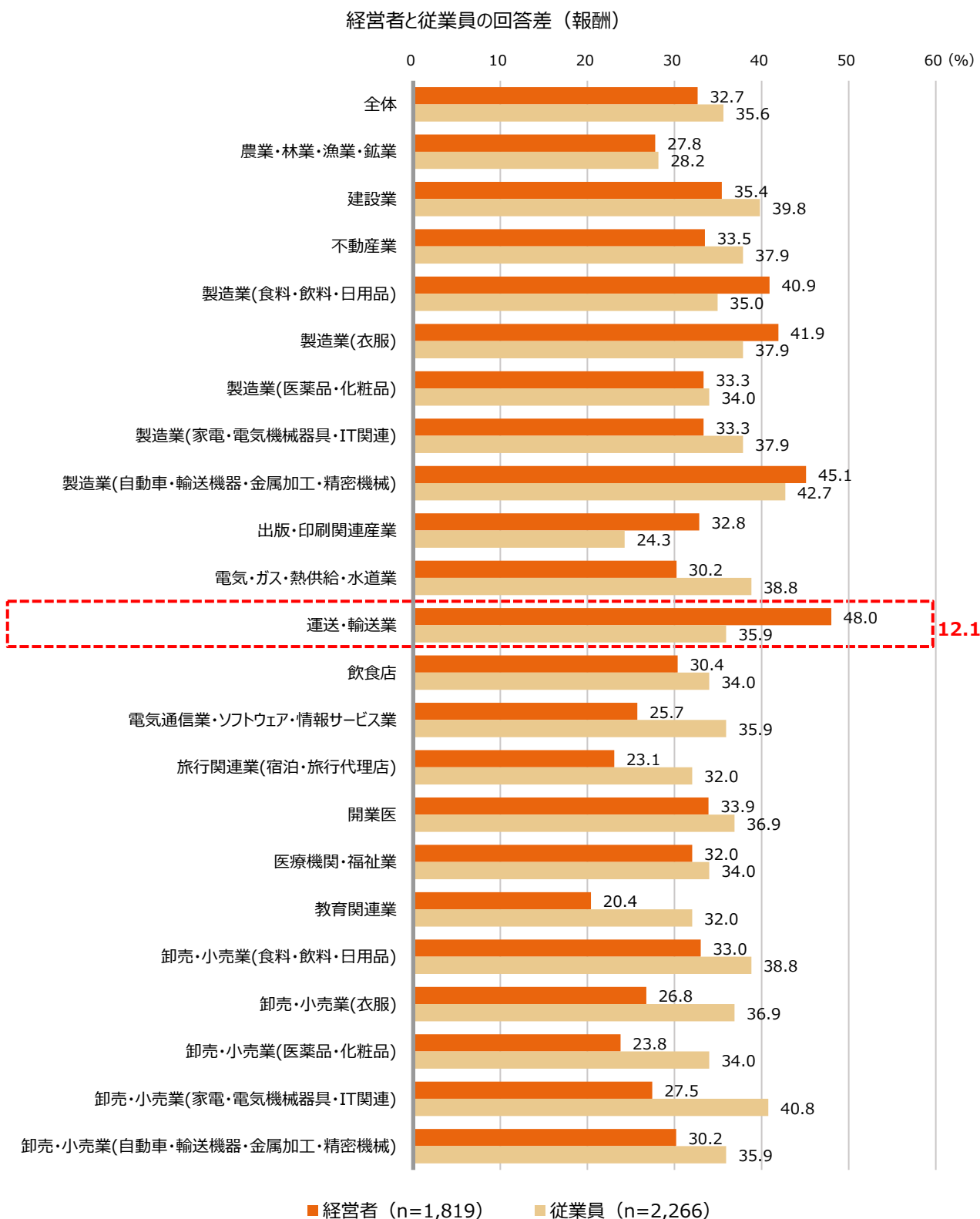
【従業員】現在の勤務先で、働くことで得られるものとして最も重要視しているものは何ですか (n=2,266、SA)



【経営者】あなたの会社の従業員が働くうえで得られるものとして従業員が最も重要視しているものは何だと思いか (n=1,819、SA)

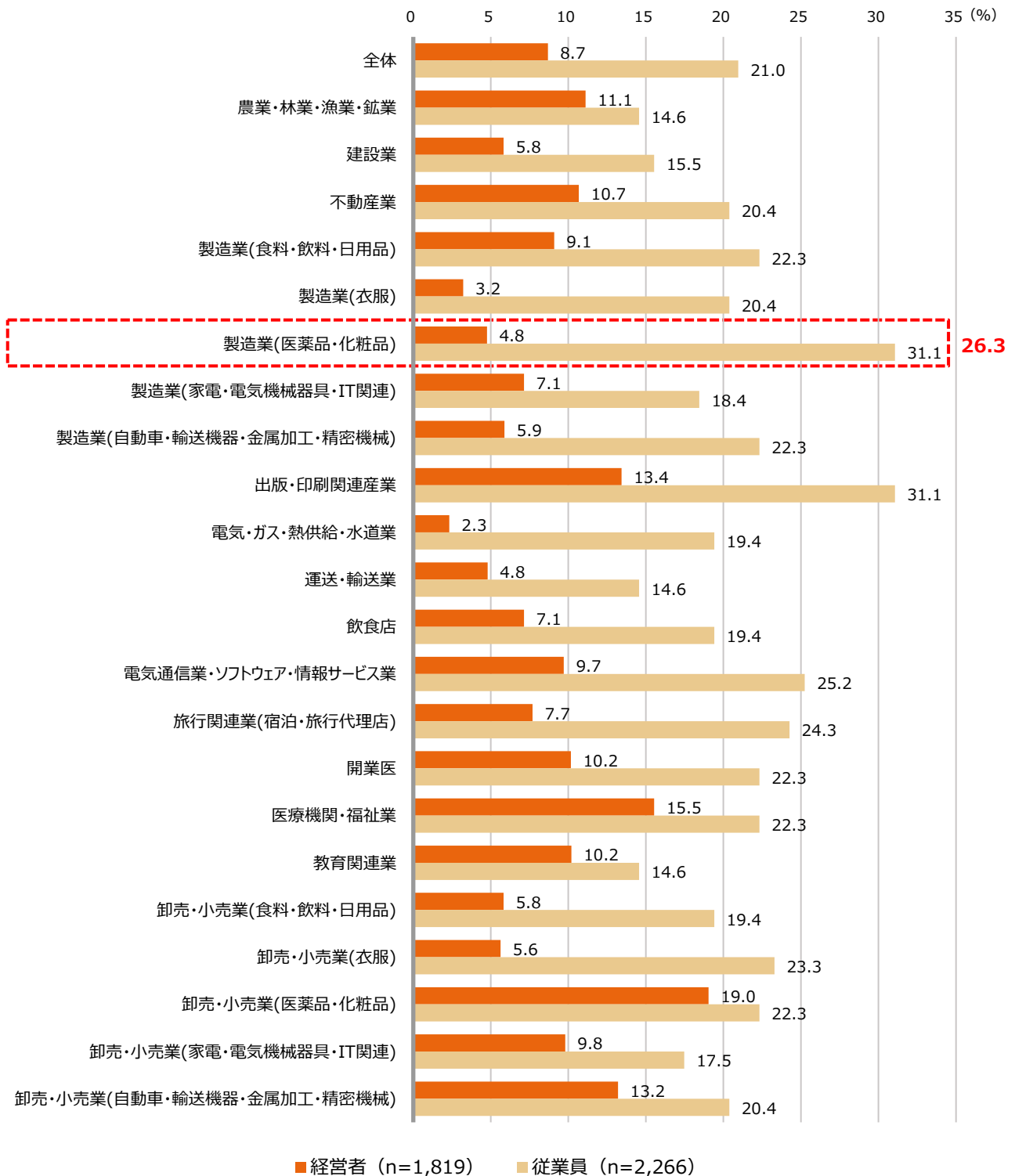


「働くうえで得られるもの」としてあげた各項目のうち「報酬」について、中小企業の経営者と従業員の回答率の差を業種別に見たところ、「運送業・輸送業」は、経営者の48.0%があげている一方で、従業員は35.9%にとどまり、12.1ポイントの回答差となりました。また、「卸売・小売業(家電・電気機械器具・IT関連)」では40.8%の従業員が「報酬」と回答しましたが、経営者は27.5%となり、従業員のほうが「報酬」を得られるものとして考えていることが明らかになりました。

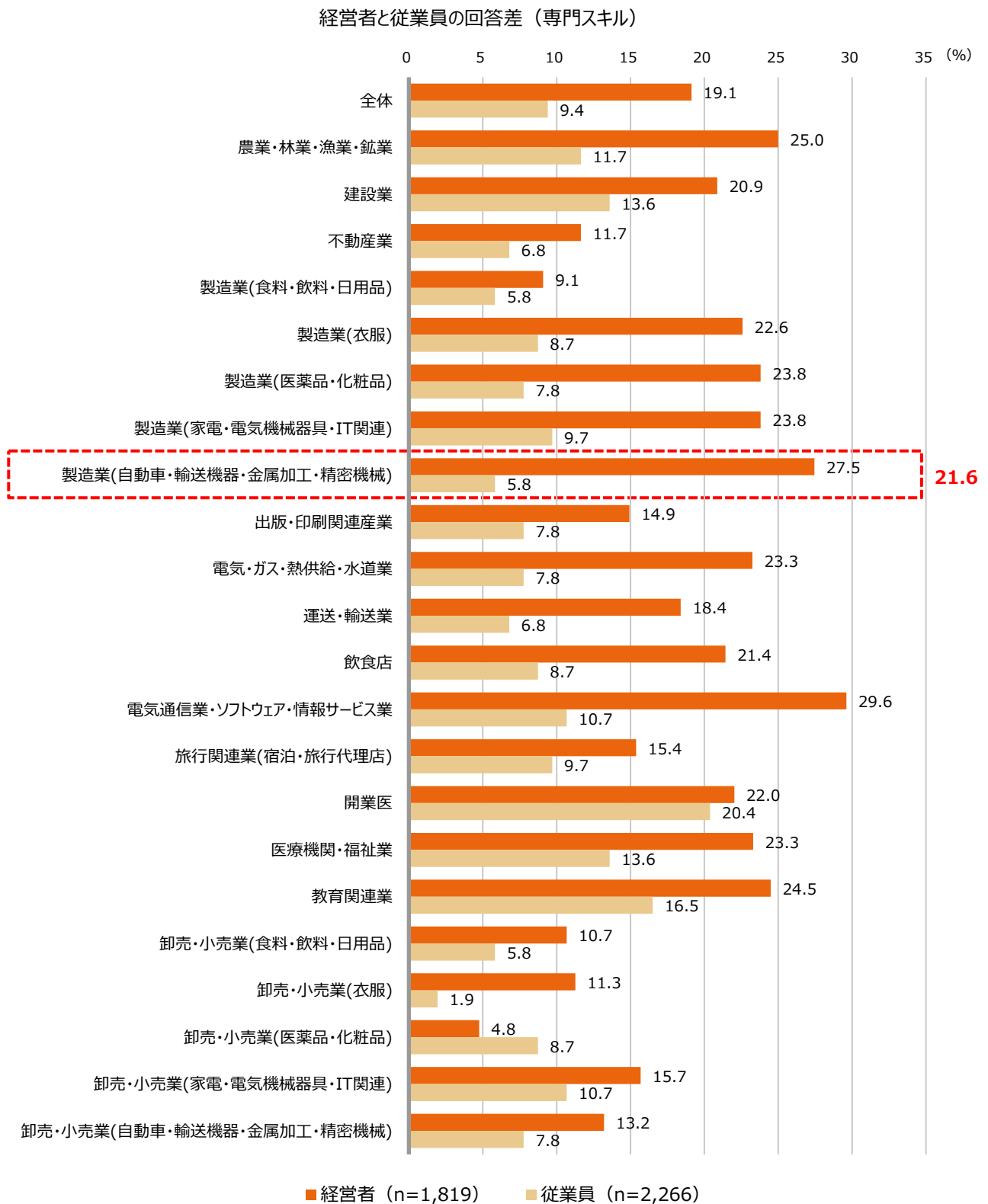


「働くうえで得られるもの」の各項目のうち「ワークライフバランス」について、中小企業の経営者と従業員の回答率の差を業種別に見たところ、全業種の従業員が経営者よりも「ワークライフバランス」を最も重要視している項目として回答していました。なかでも、「製造業(医薬品・化粧品)」は、従業員と経営者の回答差が大きく、その差は 26.3 ポイントありました。

経営者と従業員の回答差（ワークライフバランス）



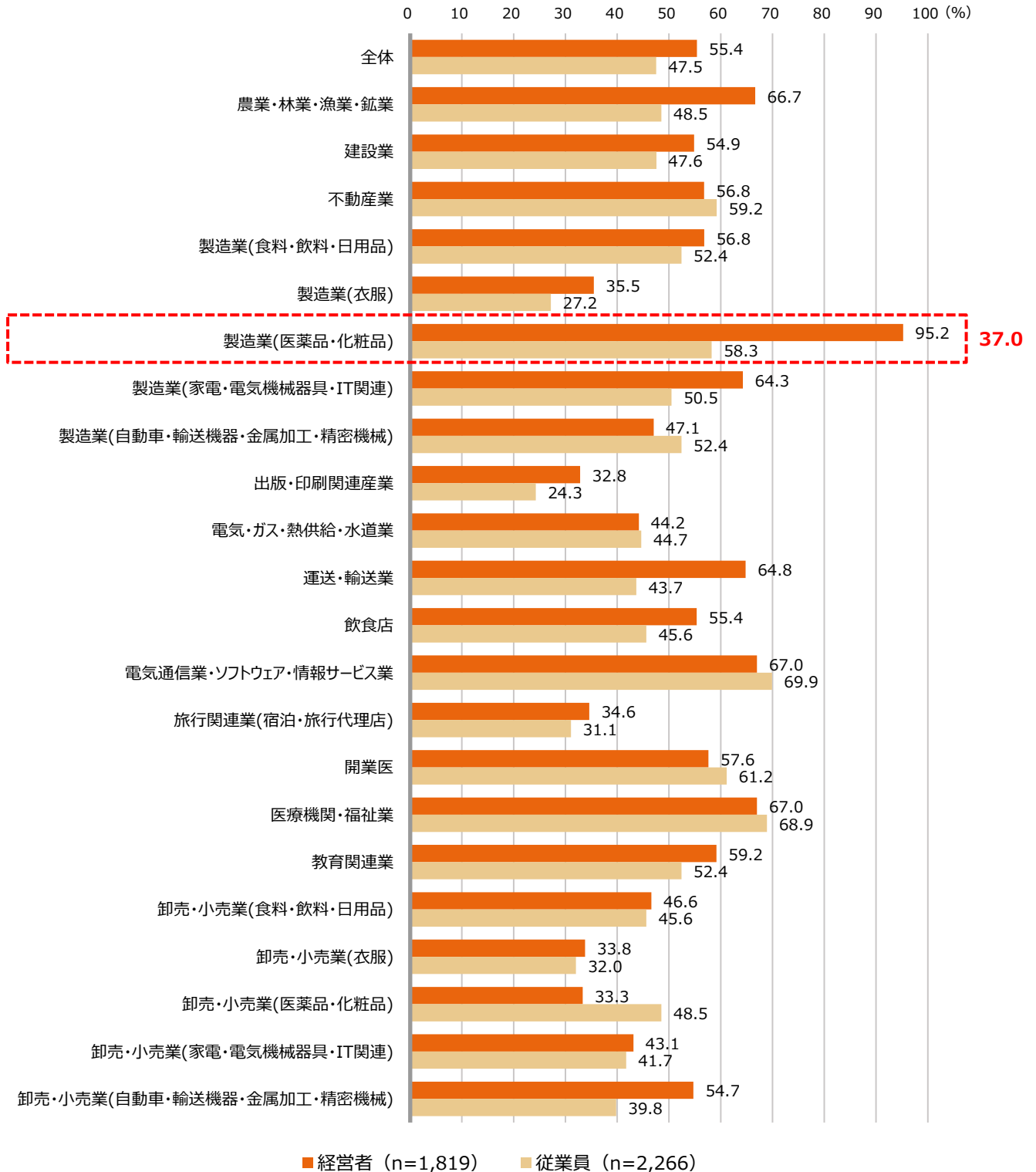
また、「製造業(自動車・輸送機器・金属加工・精密機械)」では、「専門スキル」をあげた経営者が27.5%だったのに対して、従業員は5.8%と回答差が顕著でした。



(4) 従業員よりも経営者の方が、他業界と比較して「やりがい」や「給料」が多く「残業時間」が少ないと認識

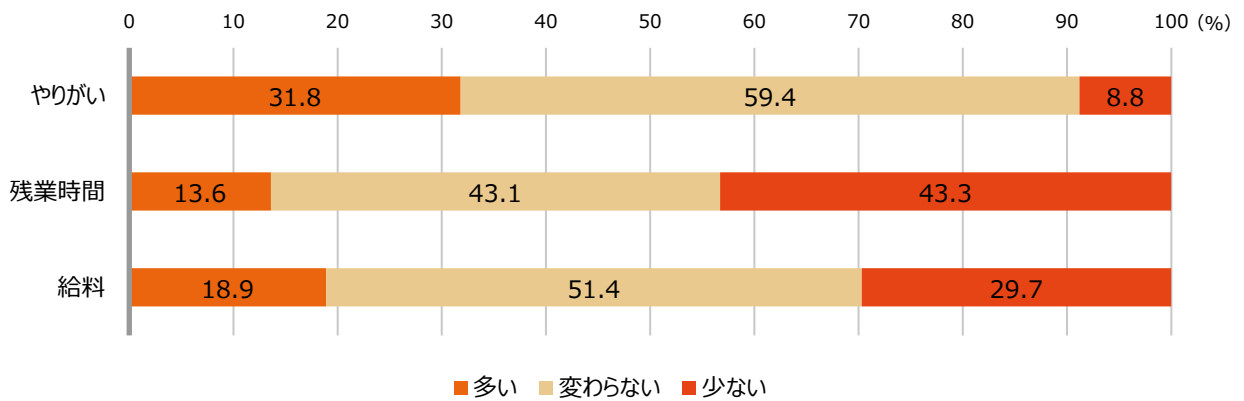
中小企業の経営者と従業員に、会社が属している業界の将来性についてどのように考えているか質問し、業種別に「将来性がある」の回答率を見たところ、95.2%の「製造業(医薬品・化粧品)」の経営者が「将来性がある」と回答したことに對して、従業員は 58.3%と回答差は 37.0 ポイントでした。

経営者と従業員の回答差（会社が属している業界に将来性があると考えている割合）

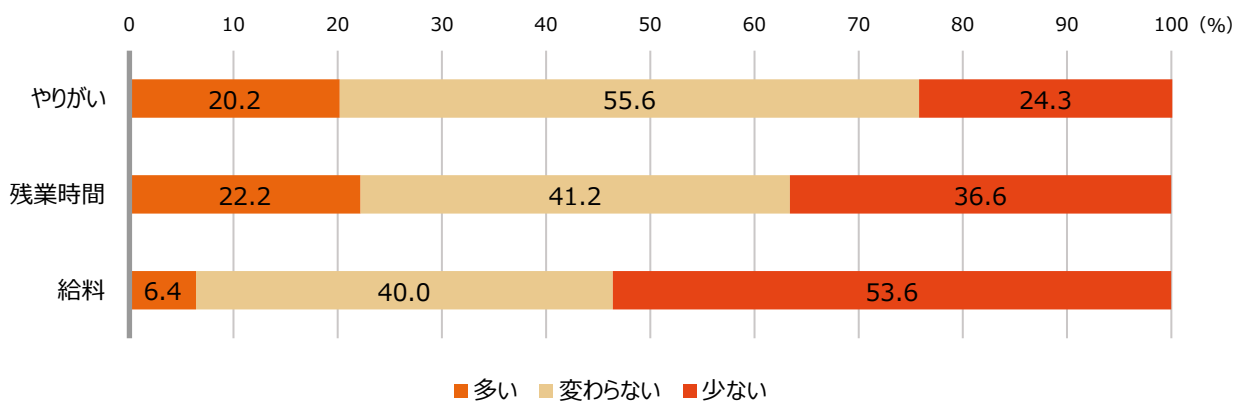


中小企業の経営者 1,819 名と従業員 2,266 名に、勤務先での働き方について他業界と比較してどのように思うか質問したところ、「やりがい」や「給料」について経営者は従業員よりも「多い」と回答した割合が多く、「残業時間」については「少ない」と回答した割合が多い結果となりました。

【経営者】会社での従業員の働き方について、他業界と比較してどのように思いますか
(n = 1,819、SA)

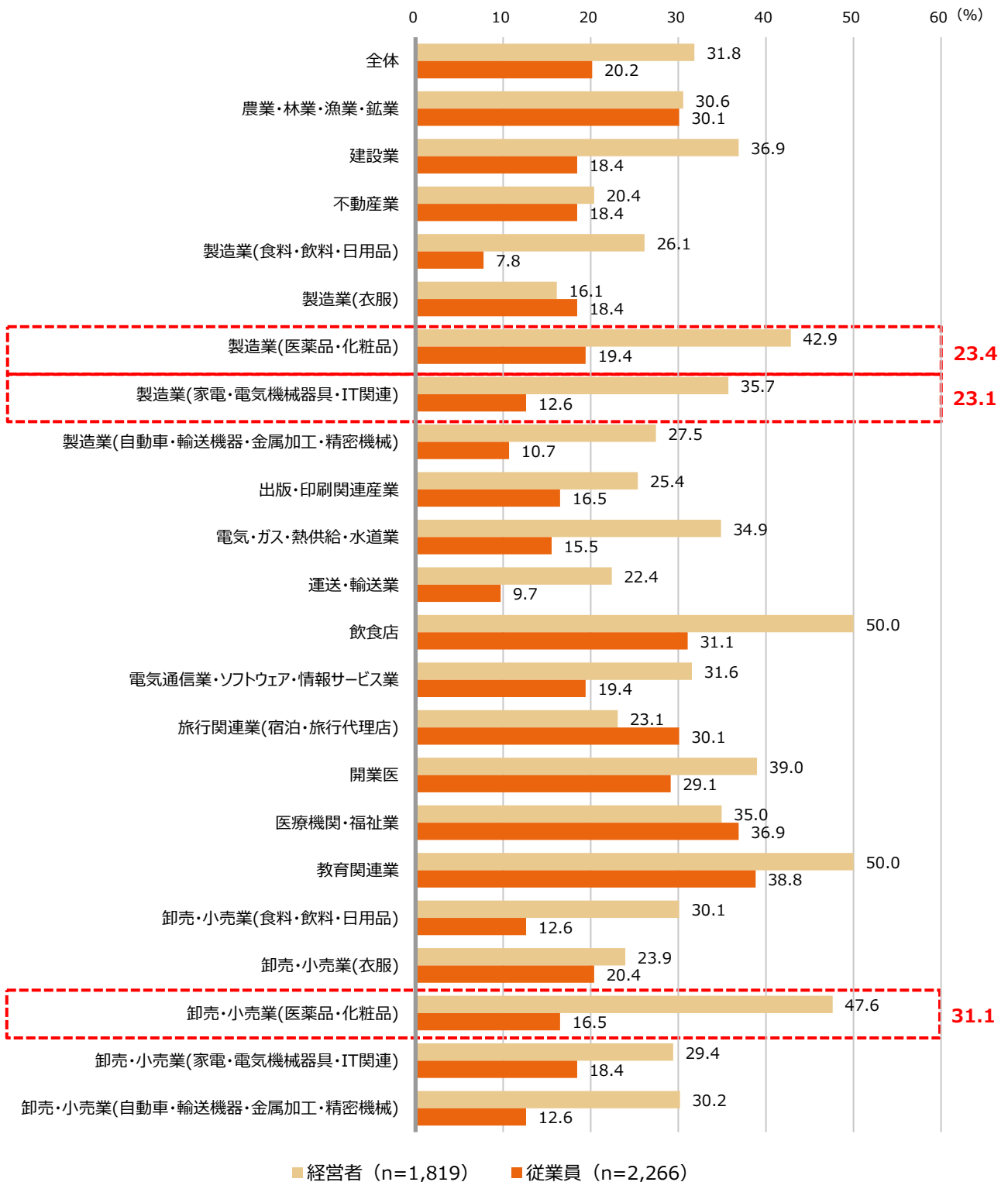


【従業員】勤務先での働き方について、他業界と比較してどのように思いますか
(n = 2,266、SA)



また、「やりがいが多い」の回答率について業種別に経営者と従業員の差を見たところ、差が大きかったのは、「卸売・小売業(医薬品・化粧品)」(31.1ポイント)、「製造業(医薬品・化粧品)」(23.4ポイント)、「製造業(家電・電気機械器具・IT関連)」(23.1ポイント)でした。

経営者と従業員の回答差（他業界と比較してやりがいが多いと思っている方の割合）



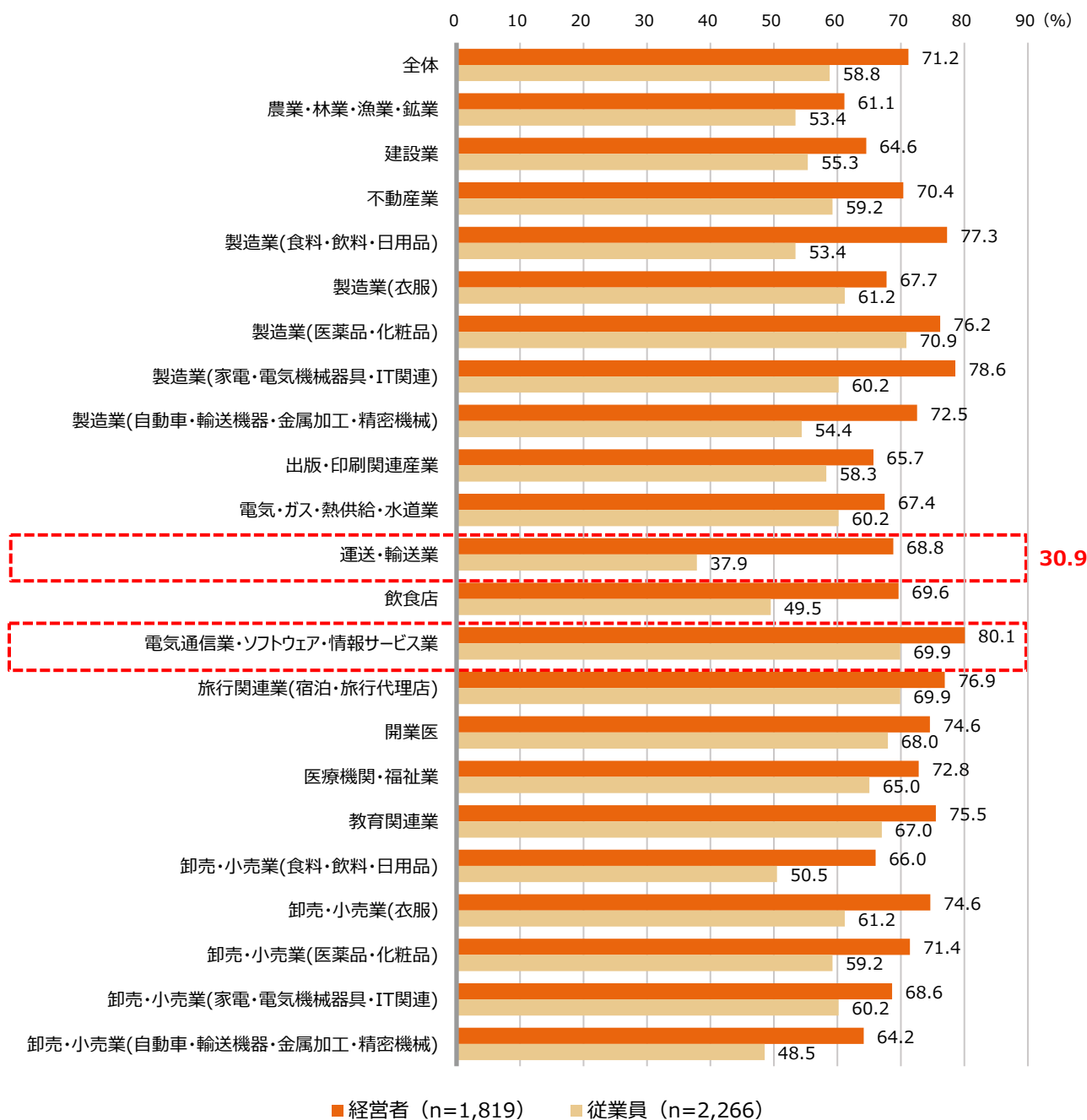
(5) 経営者が残業時間削減に最も積極的な業種は「電気通信業・ソフトウェア・情報サービス業」(80.1%)。副業・兼業に積極的な業種は「旅行関連業(宿泊・旅行代理店)」(73.1%)。

中小企業の経営者 1,819 名に、会社での働き方改革制度の「理想的な導入姿勢」について質問したところ、残業時間削減に積極的という回答が最多だった業種は「電気通信業・ソフトウェア・情報サービス業」(80.1%)、副業・兼業に積極的という回答が最多だった業種は「旅行関連業(宿泊・旅行代理店)」(73.1%) でした。

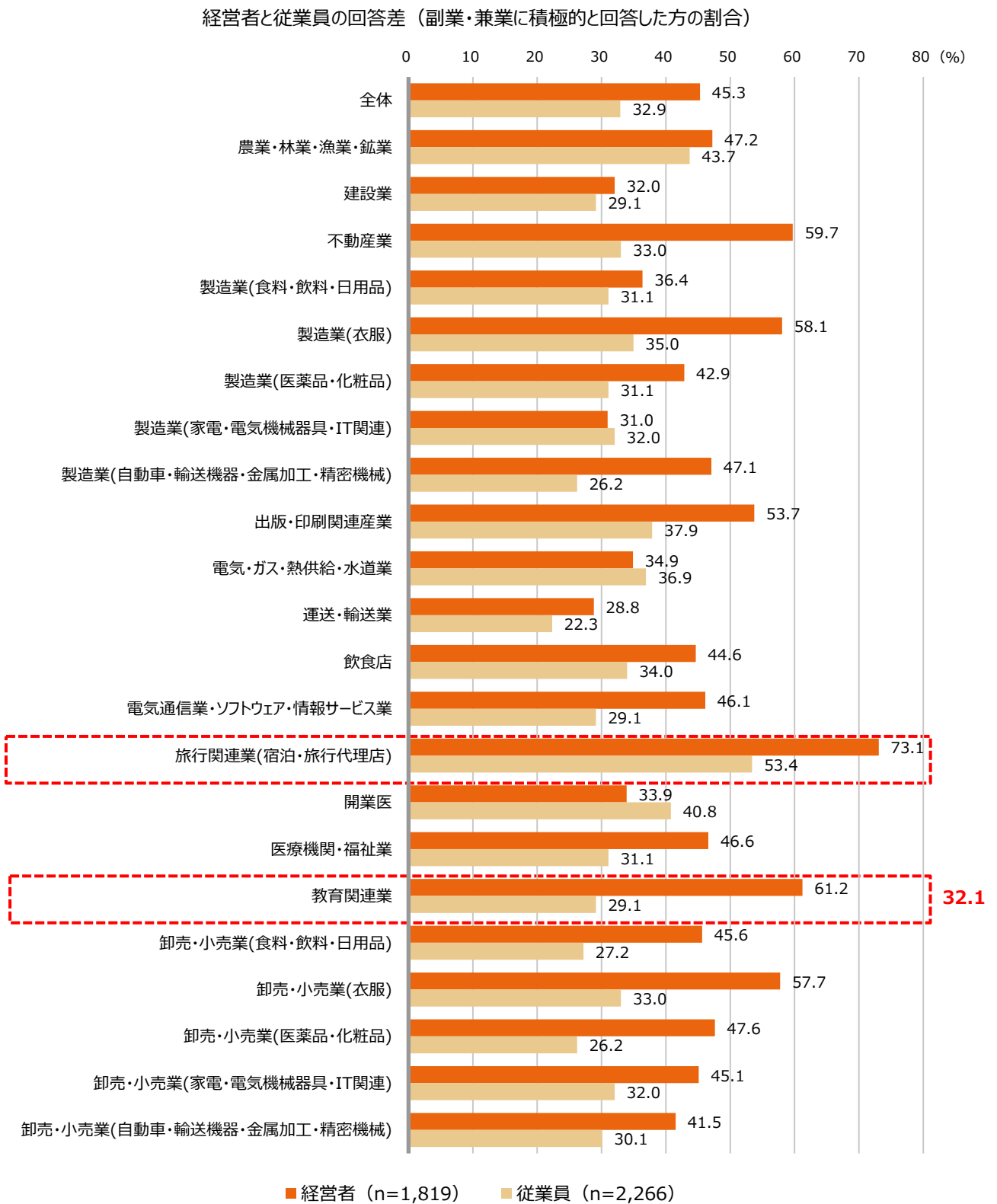
一方で、従業員 2,266 名に、残業時間削減の「理想的な導入姿勢」について質問したところ、「製造業(医薬品・化粧品)」(70.9%) が最も多く、次いで「電気通信業・ソフトウェア・情報サービス業」(69.9%)、「旅行関連業(宿泊・旅行代理店)」(69.9%) となり、経営者との差が明らかになりました。

また、業種別に各項目の経営者と従業員の回答率の差異を見たところ、残業時間の削減について「運送・輸送業」の経営者は積極的と回答した割合が 68.8% だったのに対し、従業員は 37.9% と回答差が 30 ポイント以上 (30.9 ポイント) もありました。

経営者と従業員の回答差 (残業時間削減に積極的と回答した方の割合)



副業・兼業について、経営者と従業員の差が大きかったのは教育関連業で、経営者の方が従業員よりも32.1ポイント多い結果でした。



【調査概要】

調査対象：日本全国の中小企業経営者、従業員

※従業員 300 人未満の規模の会社経営者（社長、会長、取締役）および開業医

※従業員 300 人未満の規模の会社に勤務している従業員

サンプル：全国 経営者 1,819 名、従業員：2,266 名

調査方法：インターネット調査

実施時期：2021 年 4 月 2 日～4 月 7 日

※回答結果はパーセント表示を行っており、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、各回答の合計が 100%にならない場合があります。

本件に関する問い合わせ先（報道機関用）

エヌエヌ生命保険株式会社 広報部 原

TEL: 03-6892-0523 Email: ML-IL-JP-CCA@nnlife.co.jp

株式会社ブラップジャパン 藤堂

TEL: 080-9084-7853 Email: nnlife@prap.co.jp

エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、175 年におよぶ伝統を誇る NN グループの一員です。NN グループは、欧州および日本を主な拠点とし、20 カ国にわたり、保険および資産運用事業を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986 年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、30 年以上にわたり、中小企業の“大切なもの”を共に守る商品やサービスをご提供しています。